

社会総合医療科学演習

Seminar of Social General Medical Science

キーワード

- ① 口腔科学
- ② 社会歯科学
- ③ 医療制度
- ④ 医療経済
- ⑤ 行動科学

授業概要

医療は医術だけで成立しているのではなく、患者や医療従事者を取り巻く社会環境に大きく影響され、環境要因として法制度、医療安全を含む社会からの要請、社会経済的および地理的要因などが複雑に存在している。そこで本演習では患者の環境要因を社会学および行動科学的視点から、総合的に検討する。さらに医療従事者の環境要因も検討し質の高い医療を提供するために必要な課題を抽出・討論し、解決の方策を検討する。以上の演習を通じて、社会的背景を考慮した全人的医療を行う上で俯瞰的な判断を行う素養を身につけることを目的として開講する。

授業科目の学修目標

患者の社会的背景を考慮した全人的医療を提供するために、医療に関する法制度、医療に対する社会的ニーズ、医療に関連する社会経済的要因、医療経済および行動科学といった様々な視点から俯瞰的に判断できる素養を身につける。

授業計画

- ① 医療に関する法的枠組み 6コマ 山本龍生
- ② 医療に関する社会的ニーズ 6コマ 山本龍生
- ③ 医療に関連する社会経済的要因 6コマ 山本龍生
- ④ 医療経済および行動科学 6コマ 山本龍生
- ⑤ 総合演習 6コマ 山本龍生

教科書および参考書

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

普段から医療に関するマスコミ報道に興味を持ち、社会が医療に求めていることを理解しておくこと、また英語論文を熟読するための英語力をつけておくことが求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 医療に関する法的枠組みおよびその利点と問題点を説明できる。
- ② 医療に関する社会的ニーズを説明できる。
- ③ 医療に関連する社会経済的要因を説明できる。
- ④ 医療経済および行動科学を概説できる。
- ⑤ 本授業で得られた知識を元にディスカッションができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	35%	40%	0%	20%	5%

評価の要点

- ・ 授業項目ごとに理解度を確認するためレポートと口頭試問を行う。
- ・ 成果発表は、本演習で身につけたことについての発表・質疑応答の内容を総合的に評価する。
ディスカッション・ディベート：各10%、課題発表：20%

理想的な達成レベルの目安

社会総合医療科学演習の理想的な達成レベルは80%以上とする。